

被災地の復興をメロディに託して——

名古屋で結ばれたアーティストたちと名フィルが贈る

名古屋から全国へがんばろう、ニッポン!

名フィル
Nagoya Philharmonic Orchestra since 1966



[指揮]
竹本泰蔵



[クラリネット]
亀井良信 ♠



[ヴァイオリン]
島田真千子 ♥



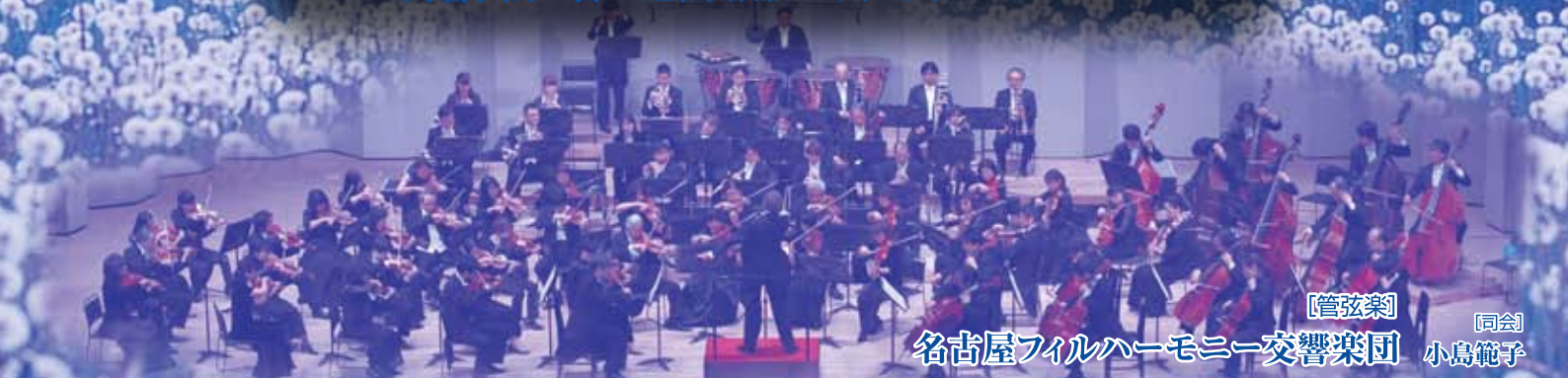
[ピアノ]
広瀬悦子 ◆



[ヴィオラ]
川本嘉子 ♣

東日本大震災 チャリティ・コンサート

- バッハ
G線上のアリア (管弦楽組曲第3番ニ長調 BWV.1068より第2曲)
- モーツァルト
クラリネット協奏曲イ長調 K.622より第3楽章 ♠
- メンデルスゾーン
ヴァイオリン協奏曲ホ短調 作品64より第2,3楽章 ♥
- シューマン
ピアノ協奏曲イ短調 作品54より第1楽章 ◆
- ブルッフ
ヴィオラと管弦楽のためのロマンス 作品85 ♣
- チャイコフスキー
交響曲第5番ホ短調 作品64より第4楽章



[管弦楽]
名古屋フィルハーモニー交響楽団
[同会]
小島範子

2011 **5.14 (土)** 3:00pm開演 (2:15pm開場)

中京大学文化市民会館オーロラホール

主催: 財団法人 名古屋フィルハーモニー交響楽団

公益財団法人 名古屋市文化振興事業団

協力: クラシック名古屋、スタジオエイソー、株式会社 大井企画

チャリティ・チケット料金 (全席指定)

S席 (1・2F席) ¥2,000 A席 (3・4F席) ¥1,500

チケットお申込み・お問合せ

名フィル・チケットガイド
Tel. 052-339-5666

<http://www.nagoya-phil.or.jp/>

このコンサートの収益金は全て名古屋市を通じて被災地に寄付いたします。

名古屋から被災地にエールを! 3月11日、未曾有の被害をもたらした「東日本大震災」で亡くなられた方々への追悼の音楽とともに、被災された方々を支援するため、名古屋にゆかりのある音楽家たちとともに「チャリティ・コンサート」を開催いたします。

名古屋市出身の島田真千子、川本嘉子、亀井良信、広瀬悦子の4人はいずれも世界で活躍する第一級のソリストたちです。また名フィルのアシスタント・コンダクターも務めた竹本泰蔵は神戸市出身。1996年の阪神大震災の際にも「チャリティ・コンサート」で名フィルを指揮しており、「この公演にチャリティで参加・指揮できることを光栄に思います」と語っています。

コンサートの収益金は名古屋市を通して、「東日本大震災」被災地復興のため中央共同基金회에寄付いたします。ぜひチケットをお求めいただき、会場に足をお運びください。音楽を演奏できる喜び、聴ける喜びを身体で感じていただき、被災地にも一刻も早く音楽の喜びが取り戻せるよう、名古屋から支援・協力の輪を広げていきましょう。

募金活動レポート

3月11日、名フィルでは愛知県芸術劇場での定期演奏会のゲネプロ(直前練習)中、大きな揺れを感じました。舞台上の照明が大きく揺れ、非常に危険な状態となりゲネプロは中断せざるを得ない状況になりました。コンサート本番は通常通り開催しましたが、スタッフは避難経路や連絡の徹底を再確認し、再度の地震に備え厳戒態勢で臨みました。

東北地方の惨状を目の当たりにした翌日の定期2日目、「何か自分たちにできることはないか」と自然に募金活動の声が上がりました。それぞれの思いを胸に、楽員自らコンサート前後にはロビーに立ち、募金箱を持って呼びかけを行いました。

その後の「オーケストラの日」サロンコンサートや「コバケン・スペシャル」でも、上質な音楽をサロンやロビーでお届けするとともに、募金のお願いも併せて行ない、特に「コバケン・スペシャル」では名フィル桂冠指揮者の小林研一郎自ら募金

箱を持って終演後、義援金のお願いをしました。

たくさんの方々に義援金募金にご協力いただいております。今後も名フィルの主催公演では義援金募金活動を継続して行なっていく予定です。



3月30日「コバケン・スペシャル」でのロビーコンサートと募金活動

◇プロフィール◇

竹本 泰蔵(指揮)

Taizo TAKEMOTO (Conductor)

神戸市出身。1977年に開催されたカラヤン・コンクール・ジャパンでベルリン・フィルを指揮し、第2位に入賞。カラヤン氏に招かれて、翌年よりベルリン・フィルの演奏に参加するなど、ベルリンを中心に研鑽を積む。帰国後は全国の主要オーケストラに客演し好評を博す。舞台作品にも積極的に取り組み、マルチな活動で各界の熱い視線を集めている。「オーケストラ・サウンドの魅力伝えたい!」というポリシーのもと、クラシック音楽のみならず、映画音楽、ポップス、ゲーム音楽に至るまで幅広いジャンルにおいて第一線で活躍中。

広瀬 悦子(ピアノ)

Etsuko HIROSE (Piano)

1996年パリ・エコール・ノルマル音楽院を首席で卒業。1999年パリ国立高等音楽院を首席で卒業し、併せてダニエル・マーニュ賞を受賞。1992年モスクワ青少年ショパン国際ピアノコンクール優勝、1999年マルタ・アルゲリッチ国際コンクールで優勝。以来、国内外でリサイタルを開催。2010年にはフランスにてシューマンの〈ピアノ協奏曲〉をネルソン・フレイレの代役で数回演奏し、大成功を取めた。スケールの大きな音楽作り、美しい音色、幅広いレパートリーが高い評価を集め、世界に活躍の場を広げる期待のピアニストである。

亀井 良信(クラリネット)

Yoshinobu KAMEI (Clarinet)

1998年パリ市12区立ポール・デュカ音楽院を、1999年オーベルヴィリエ・ラクールヌーヴ地方国立音楽院をいずれも満場一致の1位で卒業する。ピエール・ブーレーズ氏に認められ、フランス騎馬オペラ団「ジガロ劇団」のスペクタクル『TRIPTIK』でソリストに抜擢。1997年トゥーロン国際コンクールでスペディダム賞を受賞。2003年日本木管コンクール1位及びビコスモス賞、朝日新聞社賞、兵庫県知事賞を受賞。第16回出光音楽賞、2005年度〈アリオン賞〉、2009年度名古屋音楽ペンクラブ賞を受賞。

川本 嘉子(ヴィオラ)

Yoshiko KAWAMOTO (Viola)

1992年ジュネーヴ国際コンクールで最高位(1位なしの2位)。1996年村松賞受賞。1997年第7回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞受賞。東京都交響楽団首席奏者を経て、現在ではソリスト・室内楽奏者として最も活躍しているヴィオラ奏者の1人。桐朋女子高等学校音楽科を経て、同大学に入学。サイトウ・キネン・オーケストラ、小澤征爾音楽塾、水戸室内管弦楽団、別府アルゲリッチ音楽祭などにも定期的に参加し、マルタ・アルゲリッチやユーリ・バシメットなど世界一流のソリストたちと共演し絶賛を博している。

島田 真千子(ヴァイオリン)

Machiko SHIMADA (Violin)

東京芸術大学を首席で卒業。その後6年間ドイツでの留学生活を送り、デトモルト音楽大学院を修了、ドイツ国家演奏家資格を取得。これまでに日本モーツァルトコンクール第1位、日本音楽コンクール第2位、パガニーニ国際コンクールやJ.S.バッハ国際コンクール等で入賞。愛知県芸術文化選奨文化賞、名古屋市芸術奨励賞を受賞。ソリストとしてオーケストラとの共演、リサイタルや室内楽公演のほか、サイトウ・キネン・オーケストラのメンバーなど、多彩な演奏活動を行なっている。田中千香士、マルコ・リッツィ、アイザック・スターンらに師事。

◆アクセス・ご注意◆

中京大学文化市民会館オーロラホール

〒460-0022

名古屋市中区金山1-5-1

http://www.bunka758.or.jp/O2shisetsu/O2shisetsu_01.html

- 地下鉄名城線「金山」駅北改札口から
地下連絡通路にて徒歩1分
- JR中央本線・東海道本線、名鉄本線「金山」駅
北口より徒歩5分

※未就学児童のご入場は、保護者同伴の場合でもご遠慮ください。
※お申込みいただいたチケットのキャンセル・変更は受付いたしておりません。
※やむを得ぬ事情によって、出演者・曲目などを変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。